

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2018年度 パフォーマンス向上会議情報(2018年11月27日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年11月27日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	【雑固体廃棄物焼却設備 焼却炉(B) 灰搬送コンベア内における、異音の発生について】 雑固体廃棄物焼却設備(B)の焼却運転中に、焼却灰を一時保管する設備(灰投入ホッパ)へ移送するための灰搬送コンベア(B)より異音を確認。 原因は、燃焼灰の固形物や耐火レンガの剥離物の接触音と推定。 なお、焼却設備(B)の運転には、影響なし。	GⅢ
2	【協力企業作業員による、APD・ガラスバッチの一時不携帯について】 協力企業作業員が、作業終了後、免震棟にて着替えた際、免震棟更衣室内にAPDとガラスバッチを置き忘れ、入退域管理棟まで移動し、APD返却時に置き忘れに気づき、入退係員に報告実施。 また、免震棟更衣室内に置き忘れたAPDとガラスバッチについては、別の作業員へ連絡して回収を実施。 なお、不携帯時の線量評価を実施。	GⅢ